

| | | | | | | | | |
|------------------|--|------|----------------|------------------|-------------------------|----------|-----|----|
| 授業科目 | *看護マネジメント総論 | | | | 単位 | 1 | | |
| 履修 | 必修 | 関連資格 | 高一種免(看護) 養教一種免 | | ナンバリング | NU21404J | | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 後期 | 該当DP | DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP4-1 | | | |
| 担当教員 | 隅田 由加里 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護マネジメント(看護管理)とは、看護の目的を個人ではなく組織によって、効率的、効果的、そして創造的に果たすための機能である。対象者の高齢化や重症化によってケアのニーズは増加しているものの、増大する社会保障費によって、医療機関の経営は圧迫されている。看護職がこのような状況下においても、人々の尊厳、安全、安楽を守り、看護専門職としての責任を果たしていくためには、闇雲に行動するのではなく、効果的・効率的なマネジメントが必須となる。また医療安全対策をはじめとするチーム医療が推進される昨今において、多職種と連携・協働できるしくみづくりにもマネジメントは不可欠であり、またこのチーム医療において患者と医療職間の間隙手としての活躍が求められている看護職の基礎的知識としても、マネジメントの理解は不可欠となる。</p> <p>担当者は、実務家教員として福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」まで修了し、長きにわたり看護管理者としてマネジメントを実践してきた経験をもつ。また福岡県看護協会 医療安全管理者養成研修と感染管理者コースも修了し、その知識をもとに医療安全を実践してきた。授業は講義が中心となるが、看護管理や医療安全の理解が深まるよう、具体的な事例を提示しグループワーク等を活用していく。なお、COVID-19の影響により本授業は遠隔授業として実施する。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 看護職が看護活動を通して人々の健康や幸福に効果的・効率的・創造的に貢献できるための、看護マネジメントの基本的な考え方を身につけることができる。 看護マネジメントの基本を学ぶなかで、ヒト・モノ・カネ・時間・情報という資源を活用し、効果的・効率的に看護をマネジメントするための思考力を高めることができる。 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、まずはグループメンバーで協力し課題を解決することができる。 療養者と職員の間性を尊重できる組織マネジメントを理解しようという態度を持ち、責任と倫理感に基づいたセルフマネジメントを行うことができる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 60 | 0 | 30 | 0 | 10 | 0 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | 60 | | | | | | 60 | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | 30 | | 0 | | 30 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | 0 | 0 | 5 | | 5 | |
| 態度(DP4-1) | | | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |

| <p>1. 看護マネジメントの意義・目的が根拠をもとに記述できる。</p> <p>2. 看護マネジメントの概要(看護マネジメントのプロセス、組織理解、チーム医療、各資源管理、医療・看護の質評価、診療報酬制度を中心とした看護に関わる医療制度)が具体例を用いて記述できる。</p> <p>3. 医療安全(事故防止)におけるマネジメントの概要(医療安全管理体制、事故発生のメカニズム、医療安全文化の醸成)が具体例を用いて記述できる。</p> <p>4. 事故防止の学びを通して、感染防止対策におけるヒト・モノ・カネ・時間・情報という資源を活用しての看護サービス管理が根拠をもとに思考し記述できる。</p> <p>5. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、リーダーシップを図りグループの課題解決のため取り組むことができる。</p> <p>6. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解し、専門職としての自己の成長を考え、倫理に基づいた節度ある行動をとることができる。</p> | <p>1. 看護マネジメントの意義・目的を述べることができる。</p> <p>2. 看護マネジメントの概要(看護マネジメントのプロセス、組織理解、チーム医療、各資源管理、医療・看護の質評価、診療報酬制度を中心とした看護に関わる医療制度)を述べることができる。</p> <p>3. 医療安全(事故防止)におけるマネジメントの概要(医療安全管理体制、事故発生のメカニズム、医療安全文化の醸成)を述べることができる。</p> <p>4. 事故防止の学びを通して、感染防止対策におけるヒト・モノ・カネ・時間・情報という資源を活用しての看護サービス管理を述べることができる。</p> <p>5. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、メンバーシップを図り、グループの課題解決のため取り組むことができる。</p> <p>6. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解し、自己の成長を考え節度ある行動をとることができる。</p> | | | |
|--|---|--|--|------------|
| 授業計画 | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) |
| 1 | <p>看護マネジメント総論のガイダンス 講義:看護マネジメントの概要 (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護マネジメントの定義 ・看護マネジメントのレベルとプロセス | <p>* COVID-19 の影響により対面授業が困難な場合は、遠隔授業で実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを用いて科目についてのオリエンテーションを実施する。 ・講義:テキストとスライドを活用して行う。 | <p>【予習・復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.看護マネジメント総論で学ぶ知識と技術への理解を深め、学習内容の積み重ねと効果的な活用につなげるため、今後に役立つ「ポートフォリオノート」を作成する。 2.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | 【予習・復習】60分 |
| 2 | <p>講義:マネジメントにおける組織の重要性とチーム医療 (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画化、組織化、人事化の概要 ・組織とは何か ・チーム医療の概要 | <p>講義:テキストとスライドを活用して行う。</p> | <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 2.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | 【予習・復習】60分 |
| 3 | <p>講義:看護サービスマネジメントの基本 (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織が効果的・効率的に看護活動を行うための指揮基盤作り ・人材資源管理と時間管理 ・物品管理とコスト管理 ・情報の管理 | <p>講義:テキストとスライドを活用して行う。</p> | <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 2.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | 【予習・復習】60分 |
| 4 | <p>講義:看護と病院経営/医療の質保証 (講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・看護を取り巻く社会の現状 ・医療における国の基本方針 | <p>講義:テキストとスライドを活用して行う。</p> | <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 <p>【復習】</p> | 【予習・復習】60分 |

| | | | | |
|----|---|--|--|------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬制度 ・重症度看護必要度 ・医療の質と評価(統制) | | <ol style="list-style-type: none"> 1.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 2.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | |
| 5 | <p>講義:看護師に求められる能力／組織の人材育成と個人のキャリア形成(講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師に求められる能力とは ・継続教育制度 ・看護職としてのキャリア | 講義:テキストとスライドを活用して行う。 | <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 2.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | 【予習・復習】60分 |
| 6 | <p>講義:医療安全における看護マネジメント(講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理体制 ・人間の特性と事故発生のメカニズム ・医療事故の分析 | 講義:テキストとスライドを活用して行う。 | <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.提示された課題に取り組む。 2.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | 【予習・復習】60分 |
| 7 | <p>講義:医療安全文化の醸成(講義:隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全文化の醸成 | <p>講義:テキストとスライドを活用して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表:前回の授業でのグループ課題を発表する | <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.提示されたレポート課題を期日までに取り組む。 2.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3.該当分野の国家試験過去問題を活用して理解する。 | 【予習・復習】60分 |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |
| 11 | | | | |
| 12 | | | | |
| 13 | | | | |
| 14 | | | | |
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |

| | | | | |
|-----------------------|---|--|--|--|
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | <p>コロナ禍にある今、テレビやインターネットを介して、病院や看護の現状や課題が報道されています。まずはこの様なメディアによる医療や看護に関連するニュースや情報に興味を持って視聴してください。日々医療現場で行われている手指消毒方法の徹底統一や、個人防護具の充足、重篤な患者に使用する人工呼吸器をどの看護師でも安全に活用できるようにするためなど、全ての医療と看護の基盤にマネジメントが存在しているのです。今までの学修は、患者個々に焦点を当てたものが多かったと思いますが、この看護マネジメント総論では、病院という大きな組織を介して医療・看護を考えていきますので、このような視点を育みましょう。そして各病院のホームページを閲覧し、各組織構造や理念や方針などを比較し、各施設の特徴や重要視していることを読み取っていきましょう。</p> | | | |
| テキスト | <p>「ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版) 「ナースング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)</p> | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①(医学書院) ・系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②(医学書院) ・井部俊子 中西睦子著:看護管理学習テキスト 第1巻～第8巻、別巻)日本看護協会出版会) ・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳:[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社) ・岩崎夏海著:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社) ・河野龍太郎:医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」(医学書院) | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | <p>この大学時代が終了したら、皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関や、地域の施設や企業に就職すると思われます。それらの機関は全て組織化され、組織の目標を達成するために、個人でもチームでも、そして組織全体においてもPDCA サイクルを回しながら、より良い医療サービスを提供するために思考し実践しています。この単元を通してマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解してください。そしてその知識や考え方を習得し、来年度からの各論実習や総合実習を通して、まずは受け持ち患者の療養環境のマネジメントから実践してほしいと思います。</p> | | | |
| 達成度評価に関するコメント | <p>本授業の課題達成度は、筆記試験(60%)、課題レポート(30%)、レポート以外の提出(学習ポートフォリオ・提出物など:10%の内容から総合的に評価します。 1.【知識・理解】の看護学科 DP1-2)「看護実践に必要な基本的な知識を修得している。」は、筆記試験(60%)から総合的に評価します。</p> | | | |

| | |
|--|---|
| | <p>2. 【思考・判断】の看護学科 DP2-1)「健康上の課題を解決するため、情報や知識を活用し論理的に思考・判断できる」は、レポート(30%)の内容から評価します。</p> <p>3. 【関心・意欲】の看護学科 DP3-2)「健康支援に関わる人々と協働・連携し、生活の質を維持・向上させようとする意欲をもっている。」と【態度】DP4-1)「看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。」は、レポート以外の提出(学習ポートフォリオ・提出物など:10%)から評価します。</p> <p>*筆記試験は COVID-19 の感染状況を鑑みて、対面実施か遠隔実施かを判断します。</p> <p>*レポートテーマは授業内で提示します。</p> <p>*レポート以外の提出は、看護マネジメントに関するグループ課題を提示します。</p> |
|--|---|

